

YCU×横浜紙芝居普及会が新作紙芝居をお披露目 1964年東京オリンピックヨット競技が物語のモチーフ

横浜市立大学ボランティア支援室は、横浜紙芝居普及会と協力し、4作目となる新作の創作紙芝居を9月に実施される藤沢市のイベントでお披露目します。

「物語」、「作画」、「上演」を横浜市立大学ボランティア支援室の学生スタッフ「Volunch」※¹（以下、Volunch）メンバー、同大学美術部※²、横浜紙芝居普及会※³がそれぞれ担当します。物語は、当時「人類愛の金メダル」として毎日新聞に掲載された1964年の東京オリンピックのヨット競技での出来事を題材にしています。この題材をVolunchメンバーの学生がリメイク。作画は、美術部の学生が中心となり、水彩画で12枚を描き上げました。上演は、横浜紙芝居普及会代表の山下さんが行い、一枚一枚臨場感を持って読み上げます。

なお、今回のイベントには、セーリングの競技会場である藤沢市で募集している、2020年を市民発信で盛り上げていく「応援団」※⁴として出演します。

ポイント

○横浜市立大学学生と横浜紙芝居普及会が連携して制作

○物語は「人類愛の金メダル」が題材 (<https://www.joc.or.jp/olympism/fairplay/sailing.html>)

(江の島沖で行われた、ヨット競技フライングダッチマン級レース3日目ので起きた海難事故での救出劇)

お披露目 概要

○第17回湘南ふじさわファミリーフェスタ in 湘南モールフィル

主催：一般社団法人Woman-Bridge 湘南

日時：令和元年9月19日（木）11:30、13:30、14:30の3回公演予定。

会場：湘南モールフィル（神奈川県藤沢市辻堂新町）

藤沢市東京オリンピック・パラリンピック準備室ブース

<https://ameblo.jp/fujisawa-mama-s-festa/entry-12502737592.html>

○第46回藤沢市民まつり 秋葉台会場

主催：藤沢市民まつり実行委員会

日時：令和元年9月28日（土）（1回15分間、スタート時刻は調整中）

会場：秋葉台公園（神奈川県藤沢市遠藤）トリム広場 野外ステージ

<https://matsurishimin.wixsite.com/fujisawa>



美術部員作画の1枚



紙芝居上演の様子

※取材をご希望の方は、前日までに以下の問い合わせ先にご連絡下さい。

参考

※1 横浜市立大学ボランティア支援室学生スタッフ「Volunch」(ボランチ)

ボランティア支援室内に設置された、部活でもサークルでもない有志団体。「ボランティアの楽しさを発信し、地域と市大生をつなげる」「自らもボランティアに積極的に参加することで自分の経験値をあげる」、この二つを目標に掲げて、様々な取り組みの企画・運営を行っています。

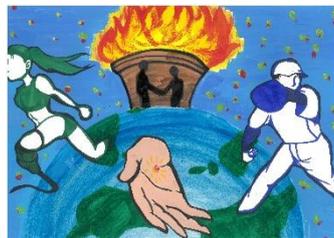
現在、学部生 30 名が参加。高校までボランティア活動の経験がない者から他の部活やサークルと兼部しているメンバーまで、様々な学生が活動しています。



新作紙芝居の物語リメイクを担当したメンバーの加藤さん(右から2人目)

※2 横浜市立大学美術部

横浜市立大学文化部連合会に所属する学生団体。約 30 名の学生が所属し、美術製作、展示会開催などの活動をしています。大学の冊子の表紙を担当するなど広報活動にも寄与しています。



作画した紙芝居の1枚



作画を担当した美術部学生(左)

※3 横浜紙芝居普及会

1998年10月にイオン金沢シーサイド店で「街頭紙芝居」を始め、2004年1月には同ショッピングセンターで観客延べ1万人達成。2006年県立近代文学館、2012金沢自然公園のはな館で定期公演を開始、現在も継続中。2015～16年青山草月ホール、2017年春から地元FMラジオに出演。子育て支援施設、高齢者施設で月5回ほどの公演を実施中。現会員は9名。

子どもたちには「優しさと勇気の種」を、ご高齢の方たちには「昔を懐かしみ明日への元気の素」をお届けします。



紙芝居上演の様子

代表 山下康(横浜市立大学 文理学部 1970年卒業)

1943年生まれ。横浜市金沢区在住。紙芝居を演じること、お話を創ること、絵を描くことの好きな仲間と共に「横浜紙芝居普及会」を創設。舞台俳優、声優としても活動中。

※4 応援団(2020 応援団 藤沢ビッグウェーブ)

「東京 2020 大会を盛り上げたい! 関わりたい!」という気持ちと活動を通じ、2020年をきっかけにまちを盛り上げ、様々な出会いや経験が生まれることを目指す藤沢市の取組。

<https://fj-games2020.jp/support.html>